

## 平成29年度公立学校教員採用選考試験の概要について

### 1 選考試験について

#### (1) 第1次選考試験

日 程	7月21日（木）～7月24日（日） ※最終日は予備日
会 場	勝山中学校、城西中学校、松山北高等学校
試 験 内 容	筆記試験（一般教養及び教職専門科目、専門教科・科目）、 実技試験、集団討論・面接試験

#### (2) 第2次選考試験

日 程	高等学校教員 9月4日（日）～9月6日（火） 特別支援学校教員
	小中学校教員 9月7日（水）～9月10日（土） 養護教員、栄養教員 ※最終日は予備日
会 場	県庁会議室
試 験 内 容	適性検査（内田クレペリン検査）、筆記試験（小論文）、 面接試験（場面指導含む）

### 2 今年度の改善点について

#### (1) 加点の変更

##### ① 高い英語力の加点の拡充

従 来	実用英語技能検定の1級の合格者等に 30点を加点する。	実用英語技能検定1級 TOEFL iBT100点以上 TOEIC 860点以上
拡 充	実用英語技能検定の準1級の合格者等に 20点を加点する	実用英語技能検定準1級 TOEFL iBT80点～99点 TOEIC 730点～859点

##### ② 防災士資格を有する者に対する加点の導入

防災士資格（NPO日本防災士機構認定）を有する者について、10点を加点する。

#### (2) 特別選考の変更

##### ① 教職経験者特別選考（本県経験者）における対象者の拡大

教職経験者特別選考において、経験年数を従来の5年以上から短縮し、本県の国公立学校で3年以上の教職経験を有する者に対象者を拡大する。

##### ② 現職教員特別選考（他県現職）における対象者の拡大

現職教員特別選考において、経験年数を従来の5年以上から短縮し、他の都道府県の国公立学校で勤務している者で2年以上の教職経験を有する者に対象者を拡大する。

#### (3) 大学院修士課程進学者の採用時の特例措置の変更（小中学校教員の試験区分）

小学校教員又は中学校教員の区分における第2次選考試験合格者のうち、次年度専修免許状を取得できる大学院修士課程（修士課程に相当する課程を含む。）に進学する者については、2年間採用を猶予する。

3 平成29年度 愛媛県公立学校教員採用選考試験 第1次選考試験における  
加點制度について

分野	内容	試験区分						加點
		小学校 教員	中学校 教員	高等学校 教員	特別支援 学校教員	養護教員	栄養教員	
1 スポーツ	選手として国際大会に出場	○	○	○				50点
	選手として全国規模の大会で8位以内に入賞	○	○	○				50点
	選手として全国規模の大会に出場	○	○	○				30点
	指導者として全国規模の大会に出場		○	○				50点
2 芸術・文化	全国規模以上のコンクール・展覧会等で優秀な成績	○	○	○	○			30点
3 高い英語力	実用英語技能検定 1級合格	○	○	○	○			30点
	TOEFL iBT100点(PBT600点)以上	○	○	○	○			30点
	TOEIC 860点以上							
	実用英語技能検定 準1級合格	○	○	○	○			20点
	TOEFL iBT80点～99点(PBT550点～599点)	○	○	○	○			20点
	TOEIC 730点～859点							
4 正しい日本語力	日本語検定 1級合格	○	○	○	○	○	○	30点
5 司書教諭	司書教諭の資格を保有	○	○	○	○			10点
6 複数の教員免許状の取得	特別支援学校免許状を保有	○	○					20点
	中学校・高等学校の理科、音楽又は外国語の免許状を保有	○						20点
	志願教科外教科の中学校教諭免許状または小学校教諭免許状を保有		○					20点
	中学校の理科の免許状を保有			○	理			20点
	高等学校の情報又は福祉の免許状を保有			○				20点
	保健師の免許証を保有					○		20点
7 その他	青年海外協力隊員として2年間程度の派遣	○	○	○	○	○	○	50点
	(公財)日本臨床心理士資格認定協会認定の臨床心理士の資格	○	○	○	○	○	○	50点
	NPO法人日本防災士機構認定の防災士の資格	○	○	○	○	○	○	10点